

○第 38 回たておう合同学習会(アンケート報告)

日 時：令和 8 年 5 月 19 日（火）・20 日（水）13：30～15：00

会 場：邑楽町役場 3 階大会議室

演 題：第 4 回救急隊員と医療・介護の顔の見える会議

「急変時の対応」～症例から学ぶ救急搬送時の連携と情報共有の重要性～

講 師：館林地区消防組合消防本部指令救急課救急管理係

課長補佐兼救急管理係長 飯島 康明 様

参加者・アンケート回収率

日 程	参 加 者	救急救命士	合 計	アンケート 枚 数	アンケート 回収率
5 月 19 日（火）	77 名	11 名	88 名	78 枚	89%
5 月 20 日（水）	60 名	8 名	68 名	57 枚	84%
合 計	137 名	19 名	156 名	135 枚	87%

参加者職種：保健師 4 名 看護師 33 名 社会福祉士 5 名 MSW 1 名 主任介護支援専門員 10 名

介護支援専門員 46 名 施設ケアマネ 2 名 介護福祉士 6 名 介護職 10 名 管理者 6 名

施設長・副施設長 3 名 相談員 6 名 事務 5 名 救急救命士 19 名

1. 本日のミニ講演会は、いかがでしたか？

- ・充実した話合いができた（3 件）
- ・現状の把握ができた
- ・救急情報シートの導入の経緯（役割）が分かり良かった（9 件）
- ・分かりやすかった（16 件）
- ・勉強になった（15 件）
- ・参考になった（7 件）
- ・救急情報シートの必要性を感じた（11 件）
- ・救急情報シートを活用したい（8 件）
- ・救急情報シートをさらに活用していく方法を考えることができた
- ・救急情報シートを活用し、緊急時スムーズに対応できるようになれば良いと思った（2 件）
- ・救急情報シートの実際の使い方など詳しく聞くことができ、今後利用するため勉強になった（2 件）
- ・救急要請時の連携と情報共有の必要性を改めて感じた（5 件）
- ・速やかな救急搬送につなげる為に、救急情報シートの活用が有効的だと改めて感じる事ができた(4 件)
- ・救急隊側が困ること、助かることを知ることができ、今後救急要請時に活用したい
- ・多職種の方と情報交換できる良い機会だった（8 件）
- ・在宅生活を送っている利用者の方にも、救急情報シートは必要と思った。特に日中独居の方（2 件）
- ・搬送時の情報共有ができることで、搬送までの時間に影響があることがわかった（2 件）
- ・救急時の対応について、再度施設で話し合いたいと思います（2 件）
- ・救急隊員と直接話ができて良かった（4 件）
- ・救急隊を含め、施設等の対応を知ることができた
- ・救急情報シートを活用している所が少ないのは、とてももったいないと感じた。当院でも記入がしっかりできるような努めたい
- ・病院独自のシートを使っているの、救急情報シートを使うことで、情報過多で分かりづらいということが、起こりにくくなると分かった。

- ・居宅のケアマネですが、訪問診療が入っていない方など、本日の情報をまとめておく事が大事だと思った
- ・救急時に困らないよう事前に救急情報シートを用意しておきたい
- ・大きな声で聴きやすかった。元気をいただきました
- ・救急情報シートについて知らなかったので、今後活用していと思いました
- ・メインの話も良かったが、最期の雑談も良かった
- ・救急情報シートは事業所間で共有した方が、活用しやすいと思った（デイサービスの利用時に、救急搬送されたため）
- ・ホームページからダウンロードして活用したい
- ・改めて救急隊の方々の苦勞も理解できた。今後救急搬送時のために、何かしらの連携シートを用意したいと感じた
- ・3回参加しています。そのたび心新たに、たくさんの気づきがあります
- ・グループワークで顔見知りになることができました。今後も定期的実施してほしい
- ・今回の講演会で救急情報シートを初めて知りました。自分の施設でも活用していきたいと思った
- ・救急情報シートの活用率がさらに向上し、在宅・施設側、救急側双方にとってもスムーズな連携がとれるようになれば良いと感じた
- ・救急情報シートの導入後の情報が分かって良かった。活用という部分での課題が分かって良かった
- ・救急情報シートの活用が100%になるよう、引き続き講演会を開催してほしい
- ・緊急時にパニックになりやすい状況での対応方法が勉強できて良かった
- ・顔の見える関係づくりを継続してもらえたら良いと思います
- ・施設・居宅・事業者とターゲットを分けて集めた方が、話がまとまりやすいと感じた
- ・救急情報シートについて、ウラ面記入を施設でも伝えていきたいと思う
- ・救急隊が必要としている情報がわかりました
- ・他の施設（居宅・訪問看護）の状況を聞くことができ勉強になりました
- ・救急情報シートの実際の活用や搬送の実例等について知ることができ、今後の活用についてしっかりと行っていきたいと思いました

2. 本日のグループワークはいかがでしたか？

- ・活発な意見交換ができた（12件）
- ・多職種の方とディスカッションでき、とても勉強になった（25件）
- ・いろいろな意見が聞けたが、時間が足りなかった、とても楽しかった（8件）
- ・多職種・多事業所の意見を聞くことができ参考になった（32件）
- ・病院・施設等の様々な対応の違いなどが聞けた。良い点などは自分たちの施設でも、導入していけたらと思います（2件）
- ・実際の在宅や訪問での急変時のエピソードや対応した流れ、対応の難しさ、解決方法を知ることができて良かったです（4件）
- ・居宅が多いグループだったが、施設での急変時に困ることを知ることができ参考になった
- ・救急情報シートを活用できると良いと感じた（2件）
- ・情報共有に関しては、プライバシー保護の面もあるので、配慮を忘れずに今後も扱っていききたいと思いました
- ・施設ではシートを利用しており、在宅でも必要になると思った（2件）
- ・いざという時に慌てないように、日ごろから準備したい（2件）
- ・救急情報シートを在宅の方には使いこなせていない。今回のグループワークに参加させていただき、スムーズな搬送や情報共有のためにも積極的に活用したいと思いました

- ・太田消防の方と話ができたので、現状を知ることができた
- ・消防隊の方に直接質問できた。聞きやすかった（4件）
- ・救急隊員の方の意見を聞く機会は重要な時間だと思います
- ・専門職で意見が違って参考になった（4件）
- ・色々な方向性を考えることができ、とても参考になった（3件）
- ・消防、病院、施設、居宅、多職種での交流ができて良かった
- ・急変時の対応についても確認ができた（3件）
- ・救急情報シートについて話し合えて良かった
- ・施設、居宅で急変時の対応について、多くの問題があることが分かった（2件）
- ・施設現場のスタッフの参加が少ない印象だった。現場のスタッフはどう対応しているか知りたかった
- ・施設、居宅で分けた方が、もう少し活発な意見が出たのではないかと
- ・検討内容が大きいと、まとめるのが大変だった
- ・施設と在宅では、ACPに対しての心構え（基準）がまったく違うため、手順も変わってくると思う
- ・各グループに消防の方が入ってくれ、進めてくださり助かりました
- ・救急情報シートの共有ができると良い
- ・施設と居宅で違いはあるが、やはり本人の意思確認が必要と感じた
- ・改めて緊急連絡票の見直しをしていきたい（特に緊急時の順番）
- ・救急隊員達の気持ちを知ることができた

3. 今後「救急隊員と医療・介護の顔の見える会議」企画してほしいテーマ

- ・救急要請の緊急度判定（例）発熱のみ→施設Drに確認 SPO₂普段93%~94% 92%で要請等
- ・今回のテーマを継続してほしい（7件）
- ・具体的な事例について振り返りができると良い（2件）
- ・何年かに1回くらい復習も兼ねて、急変時の対応（心肺蘇生）勉強したいです
- ・本来のそれぞれの業務の線引きの確認
- ・応急処置等の実演を見たい
- ・グループワークを用いた意見交換
- ・多くなっている（独居・身寄りなし・お金なし）方が、入院→退院→施設、後見人や身のまわりのことをしてくれる人、最期まで面倒見てくれる機関を情報共有してほしい。
- ・救急隊側からの情報
- ・救急時の実際のシミュレーション
- ・救急搬送のタイミング、救急搬送までにケアマネができることについて
- ・多職種でのグループワーク
- ・救急隊員が思う「救急車が来るまでにやってほしい事・やってほしくないこと（在宅）」
- ・知らないことが多くあるので、必要なことがあれば教えていただきたい
- ・心臓マッサージ・AED・窒息時の対応
- ・救急情報シート
- ・訪問介護に関しての学習会があったら嬉しいです

4. その他、参加して気づいた点

- ・今後も続けてもらいたいです
- ・実際に救急隊の方と情報共有でき、現場の様子を理解できた
- ・本日は、参加させていただきありがとうございます。貴重な時間をいただきましたので、今後活用していければと思います

- ・また機会があったら参加したいと思います
- ・館林・太田消防合同での話が聞けて良かった
- ・独居、身寄りなしの方の支援するサービスについて、栄養・食事関係の支援サービス、一人暮らしの認知症の方の支援、リハビリについて、今後取り扱ってほしいです
- ・シート利用・使用を強制してもいいのかなと思いました
- ・在宅への導入は、よく検討が必要かと思います
- ・情報シートを施設で活用したいと思いました
- ・在宅の方へのすすめ方、難しいと感じることが多いと思ったが、今日の研修をきっかけに話すことができると思います
- ・日夜努力されている救急隊員の生の声が聞けて良かったと思います
- ・救急情報シート在宅でも活用できると良い
- ・職種、年齢、経験様々な視点で気づきも違い勉強になりました
- ・デイサービスで入所の方については、情報シートを用意してあるが、通いの方については、シートを作成していないので、見直しが必要だと思い、実行します
- ・救急の方の苦勞がしのばれて、これからは協力をするように、施設みんなに伝えます
- ・グループワークは色々な意見が聞くことができ、良かったです
- ・医事課が少なかったなので、参加してもらった方が、勉強になるのではないかと思いました
- ・救急情報シートの活用性について分かった
- ・一施設では救急情報シートを進められない
- ・サービス担当者会議では、間隔が空いているので無理と言われた
- ・延命治療について、ご家族への説明が困難な場合がある◎
- ・そもそもACPが在宅では周知されていない（ほぼ知られていない）ACPの周知の方が先ではないか
ACPもアドバイザー等で全てのケアマネができることでもない。中途半端な知識でするものではないので、そこからの対応も並行して考えるべきではないか。知らぬ間にアドバイザー制度もなくなっていたようで・・・
- ・とても良かったです。これからもよろしくお願いします
- ・居宅・デイサービス等にも必要なものと感じました
- ・継続して実施してほしいです
- ・勉強、刺激になりました
- ・リビングウイル・人生会議等地域で進めていただきたい
- ・救急情報シート活用させていただきます。現場も救急時の動きに余裕が生まれました
- ・これからも合同学習会をお願いします